

議会だより



「鳥追いじゃー」

赤倉地区のお柴灯まつりにて、無病息災や家内安全を祈願する伝統行事「鳥追い」が行われました。
裏表紙の「わたしの想い」では、鳥追いの会長に想いを聞きました。



12月定例会

特集 新年のご挨拶 2P

新企画①「みんなの議会」 3P

ピックアップ議案審議

「指定管理者決まる 契約期間は3年から5年へ」ほか 4～5P

議員発議・1月臨時会

議員研修・最上中学校成果発表 6P

町政を問う 8 議員が一般質問 7～14P

新企画②「編集委員が行く!」 15P



【編集後記】

令和5年、世間を賑わせたニュースと言えば性加害問題や過重労働とパワハラ問題、不明瞭な政治資金問題など。異なる団体の出来事ですがその共通点は誰もが違和感を持っていながら強い力で抑えられ、タブー視されていた問題が告発や事件によって大きな問題に発展した、という事ではないでしょうか。身近にも潜んでいるそんな問題に勇気を持って立ち向かうことが、町を大きく変えて行くのではないのでしょうか。議会だよりでも様々な問題を取り上げたいと思います。

(栗林 浩子)



広報編集委員一同

広報編集委員会

委員長	宮本 浩
副委員長	菅 孝
委員	栗林 浩子
委員	佐藤 正市
委員	須貝 康幸
委員	山崎 香菜子

お詫びと訂正

最上町議会だより182号(令和5年10月26日発行)

5Pの人事案件の監査委員(議会選出)の任期が、令和5年9月4日から令和7年8月31日まで(2年間)としていましたが、正しくは令和5年9月4日から令和9年8月31日まで(4年間)でした。お詫びして訂正致します。

「次世代に受け継ぐ赤倉の魅力」

私の思い



赤倉温泉鳥追い会 会長

まるこめ みつる
丸米 充 さん

幼い頃から鳥追いを見ていて、勇壮に走る大人たちの姿に憧れがありました。私も高校1年生の時から参加しています。

赤倉は人とのつながりが強固で、様々な行事が残っています。鳥追いを続けているのは仲間の存在も大きいですし、父親の世代が楽しそうにしていたのを見てきたことも影響しています。

鳥追いの魅力は何といっても点火の瞬間。お客様の歓声が上がると寒さを忘れてしまいます。コロナ禍では自分一人で走る年もありましたが、今年は久々に全国各地から集まってくるメンバーで走れるのが嬉しいです。

赤倉の魅力として鳥追いを盛り上げ、さらに若い世代に繋いでいきたいです。地元からの参加も大歓迎ですし、関係人口を増やしていくためにも県外の方も巻き込みながら続けていきたいです。赤倉集落以外の方でも走り手募集しておりますので、ぜひ声をかけてください!

議会の主な動き

10月21日(土)

国民スポーツ大会 アルペン競技町民の集い

町長はじめ関係者と選手や家族などで、町民の集いを開催しました。選手への応援と援助金目録の贈呈がおこなわれ選手からは、力強い決意の言葉がありました。全競技選手の健闘と活躍を祈ります。



11月26日(日)

道の駅「もがみ」オープン記念式典

道の駅「もがみ」が11月26日にオープンしました。加藤鮎子内閣府特命担当大臣はじめ東北地方整備局長や県関係者・8市町村長と議員全員が出席してオープニングセレモニーが行われました。寒い中、最上中吹奏楽部の演奏で花を添えていただき、ありがとうございました。町長や来賓の方々からは、酒田・石巻道路整備事業の道路整備事業のお話もあり、道の駅の賑わいが今後の町づくりに大きく貢献することを期待しています。



12月1日(金)

大崎市議会との合同研修会

酒田・石巻道路整備事業のさらなる推進をと、国交省仙台河川国道事務所の講和をいただきました。大崎市議会と改めて道路整備事業への思いを共有しました。

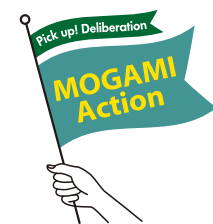


12月定例会

議会インターネット配信

傍聴者数 11人

視聴回数 1142回



2024 NO.183 最上町議会だより

■発行 / 最上町議会広報編集委員会
最上町役場 / 山形県最上郡最上町大字向町644



議会傍聴の
ご案内

次回の定例会は
3月定例会です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

■企画・制作 / 合同会社 クロスプランニング

令和六年

新年のご挨拶



挨拶に先立ちまして、去る1月1日夕方に発生した「令和6年能登半島地震」により、尊い命を落とされた方々のご冥福と、甚大な被害を受けた皆様、そして地域が一日も早く復興されることを心よりご祈念申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。
新たに迎えた二〇二四年が、町民の皆様にとって輝かしい年になりますよう、お祈りいたします。

地方創生を掲げ、課題解決を目指す地方行政を取り巻く環境は人口減少社会が進む中で大変厳しい状況にあります。が、昨年の改選で議席をいただきました10人の議員で構成された議会と、執行部との連携を密にし、まちづくりに邁進したいと思っています。

その第一歩が2月に行われる国民スポーツ大会スキー競技会の成功です。関係者、並びに町民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

町の課題も山積しておりますが、議論を重ね、進むべき方向を定め、決断することが重要視されます。関係者全員で取り組んでいくことを方針とし、年頭の挨拶といたします。

最上町議会議長

伊藤 一雄



各議員に今年の議会での抱負を聞きました！

※右上から下に向かって議席番号順

宮本 浩
求められる子育て支援策や遊び場の探求と議会のデジタル化と政策提言サイクルを推進します。

栗林 浩子
若者の就業問題を働く側と雇う側の視点から考え、働き方改革を推進し新規就農者を増やす。

尾形 勝雄
考えることも大切であるが、日が暮れないうちにまず行動。そこに道はできる。

佐藤 正市
町民の耳・目・声となり、町政に問題提起しPDCAサイクルを定着させた議会を目指します。

菅 孝
昨年は道の駅のオープンがありました。明るい兆しが町政にもあるように頑張ります。

須貝 康幸
子育て世帯の問題対策・解決・健康福祉に関する活動を頑張つて参ります。

佐藤 義男
監査委員としての責任を果たし、町民の声を町政に反映させ、持続可能な町づくりを目指す。

山崎 香菜子
議会がある意味を暮らしの中で実感してもらえよう、具体的な政策提言を行います！

佐澤 浩
公序良俗（公共の秩序を守る常識的な観念）、綱紀粛正（規律を引き締め不正をなくす）を真理として歩む。

議会をより身近に！より分かりやすく！

みんなの議会

今回より新企画として始まった「みんなの議会」は、町民の皆さんのための議会を、より身近に分かりやすく感じていただくために企画しました。初回は議員が所属する委員会等の種類と、1年間議会がどのような活動をしているのかをまとめてみました。

総務文教常任委員会

総務企画課・まちづくり推進室・こども支援課・教育文化課・町民税務課・会計課に関わる事業の調査研究を行います。

産業厚生常任委員会

建設水道課・農林振興課・町立病院・介護老人保健施設・健康福祉課・商工観光課に関わる事業の調査研究を行います。

議会運営委員会

定例会など議会運営の日程調整や請願・陳情などの取扱いを調整します。

広報編集委員会

年4回の議会だよりを編集・発行しています。

監査委員

予算がしっかりと執行されているかを監査します。

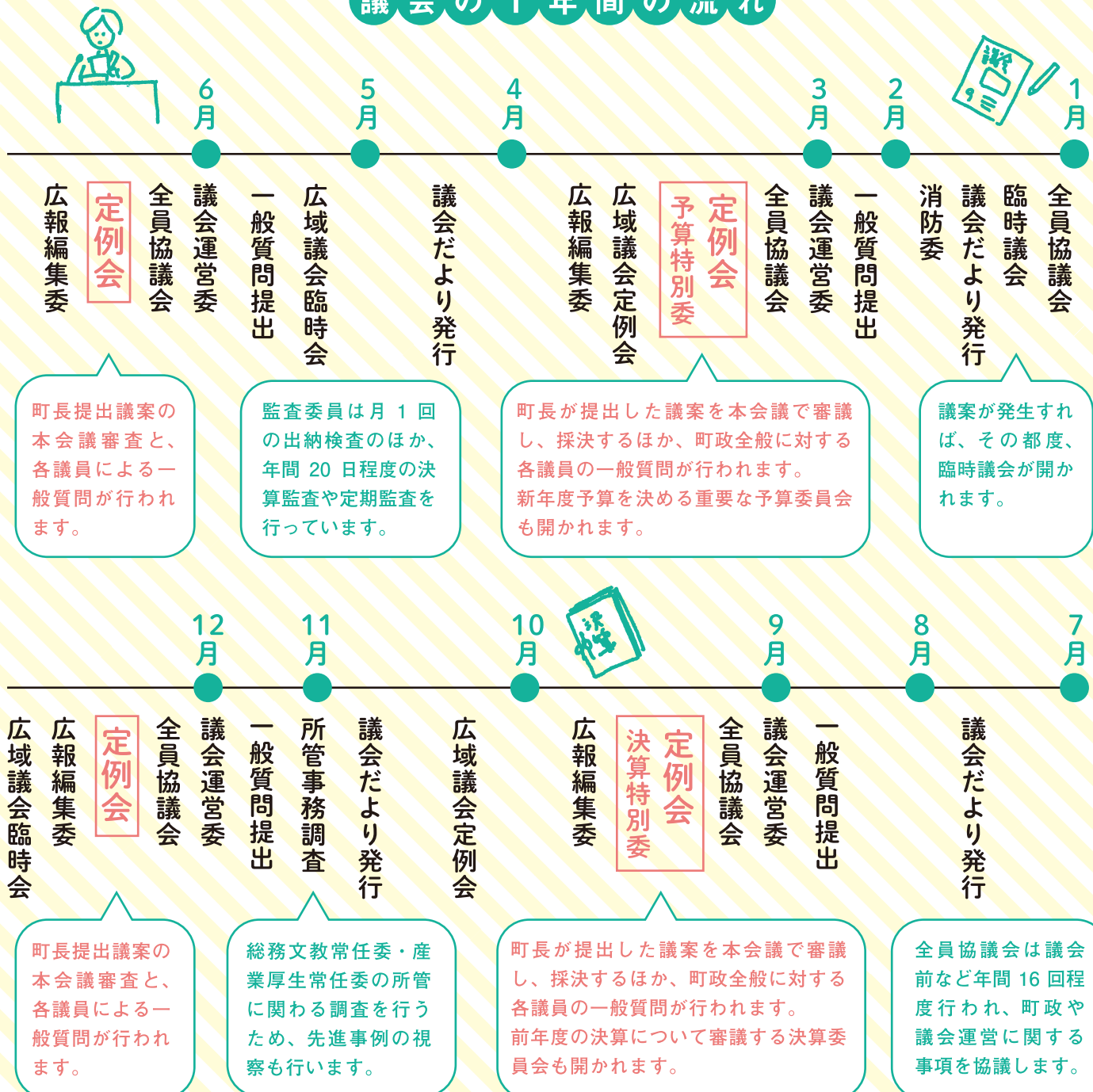
消防委員会

消防団の運営や方針の協議を行っています。

最上広域市町村圏事務組合議会

最上8市町村で共同管理している施設や事業の現状と課題を把握し、審議しています。

議会の1年間の流れ



令和5年
12月定例会審議案

■ 同意 …………… 1 件
固定資産評価
審査委員会委員の選任

■ 条例改正 …… 3 件
・一般職の職員
給与に関する条例
・特別職の職員
給与等に関する条例
・税条例
(出産時における子育て世帯
の軽減)

■ 条例設定 …… 1 件
入湯税の課税の特例に関する
条例 (国民スポーツ大会関係
者の課税免除措置)

■ 指定管理者の指定
…………… 4 件
・ウェルネスプラザ健康福祉増進
施設高齢者生活福祉センター
・西公園体育施設及び簡易宿泊
施設りんどう
・前森高原地域活性化施設

■ 補正予算 …… 9 件
令和5年度一般会計
補正予算(第4号)ほか

■ 議員発議 …… 1 件
医療機関・介護施設への支援
の拡充と、患者利用者の負担
を軽減し診療報酬・介護報酬
を大幅に引き上げるための意
見書

計19件
原案どおり可決

■ 条例改正 …… 3件

- ・一般職の職員の給与に関する条例
- ・特別職の職員の給与等に関する条例
- ・税条例
(出産時における子育て世帯の軽減)

■ 指定管理者の指定
…………… 4件

- ・ウェルネスプラザ健康福祉増進
- ・施設高齢者生活福祉センター
- ・西公園体育施設及び簡易宿泊施設りんどう
- ・前森高原地域活性化施設

■ 議員発議 …… 1件
医療機関・介護施設への支援
の拡充と、患者利用者の負担
を軽減し診療報酬・介護報酬
を大幅に引き上げるための意
見書

人事案件

※ 固定資産評価審査委員会とは、固定資産課税台帳に対する納税者からの不服を審査・決定するために設置された第三者機関です。令和8年12月20日まで(3年間)

※ 固定資産評価審査委員会とは、固定資産課税台帳に対する納税者からの不服を審査・決定するために設置された第三者機関です。令和8年12月20日まで(3年間)

5 もがみ 議会だより
No.183 令和6年1月25日発行

問 小中学校の給食費無償化の検討状況は？

答 現在は、給食費の無償化には着手していませんが、物価高騰した部分で、町負担を実施しています。

今後、国でも無償化の検討はしておりますが、他自治体の動向も見ながら検討してまいります。

問 経常収支比率を改善する為の具体的な数値目標は？

答 各課からの予算ヒアリングや補助金の使われ方や委託料の見直しなど事業の検証を行いながら期間や金額などの目標としては、3年後に現在の97・4%から95%に改善していきたいと考えております。

そのためには、義務的経費をおおよそ8000万円削減していかなければなりません。

問 策定後の動きは？

繰り出しがあるが、経営改革プラン
最上病院会計へ1億3300万円の

答 当初予算時の見込みよりも収入の落ち込みが大きく、今回の補正になりました。プラン策定後、3か月経過しましたが、昨年コロナ禍で発熱外来者数が多かった頃に比べ減少しています。

しかし、病院長中心に勉強会や研修を重ね、患者さんや家族に寄り添った対応を心がけています。

入院患者数の落ち込みはありますが、時期よりは持ち直し40床前後の推移となっています。

今後も職員一丸となつて町民に愛される病院を目指し努力して行きます。

問 経常収支比率を改善する為の具体的な数値目標は？

※経常収支比率とは、町の財政の柔軟性を示す数字。国費や県費などの特定財源を除く町の収入に対して、人件費や社会保障費など決まった支出が占める割合。

[illegible]

問 最上病院会計へ1億3300万円の繰り出しがあるが、経営改革プラン策定後の動きは？

答 当初予算時の見込みよりも収入の落ち込みが大きく、今回の補正になりました。プラン策定後、3か月経過しましたが、昨年コロナ禍で発熱外来者数が多かった頃に比べ減少しています。

問 これからの人材確保を考えた時に、他の行政職員や民間事業者から派遣を受け入れる制度もあるが、専門性の高い職員コーチングやデジタル化の推進について導入を考えるとどうか？

答 3年間、新規採用に至らなかつたのですが、今年度は啓発活動が功を奏し、内定段階ですが確保できました。社会人枠で募集もしています。が、それ以外にも国の制度で民間からの出向に対する費用を全額補助する制度もあるので、大いに検討します。

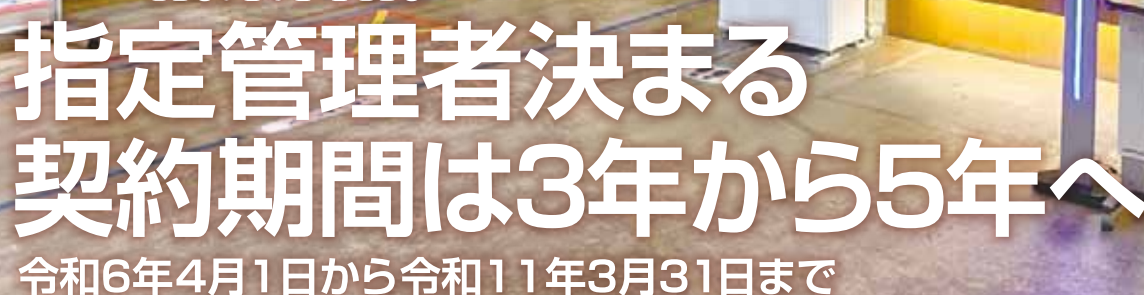
問 これからの人材確保を考えた時に、他の行政職員や民間事業者から派遣を受け入れる制度もあるが、専門性の高い職員コーチングやデジタル化の推進について導入を考えたのはどこか？

もがみ 議会だより
No.183 令和6年1月25日発行

4

〔 会 期 〕
12月6日(火)～8日(金)まで

Pick up!
議案審議



**指定管理者決まる
契約期間は3年から5年へ**
令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

**最上西公園体育施設及び
最上町簡易宿泊施設りんどう**
指定管理者
株式会社 最上町地域振興公社

問 町民体育館解体に伴い、車両や備品の保管場所が欠如している状況だが、今後の対応は？

答 車両や備品を収納する車庫や倉庫の建設は今年度、着手する事が出来ませんでした。振興公社からも要望を頂いておりますので、収納する物品を精査しながら来年度の設置に向けて検討を進めていきます。

前森高原地域活性化施設
指定管理者
株式会社 MGM

施設内のトイレなど、毎日の掃除を徹底し清潔を心掛けていますが、老朽化が進む施設の改修は必要だと認識しています。物価高騰により乗馬体験料金等を値上げせざるを得ない状況であり、イベント性を持たせ、町民が利用しやすい企画を考えながら、前森高原全体の活性化については、お互いの活動に相乗効果が得られるように、3者の協議会を考えていきます。

**ウェルネスプラザ健康福祉増進施設・
高齢者生活福祉センター（陽だまりの家）**
指定管理者
社会福祉法人 最上町社会福祉協議会

問 指定管理料が5年間同じ金額というのは、何を基に設定しているのか？賃金などの高騰を加味して設定されているのか？

答 現時点でのベースの金額が基本となりますが、物価が高騰が避けられなければ受託側と協議の基に金額の妥当性を加味した上で、債務負担のアップ部分を予算書に計上させて頂き、議会で確認して頂きながら、双方納得の上で進めていきます。

議 員 発 議

議員 議 議 発

尾形 勝男

意見書

医療機関・介護施設への支援と、 患者・利用者の負担を軽減し 医療報酬・介護報酬を大幅に 引き上げるための意見書

【 提 案 理 由 】

毎年のように発生する自然災害や、新たな感染症などに備えるためにも、国の責任で医療機関・介護施設へのさらなる経済的援助と現場に従事する労働者の処遇改善、併せて患者・利用者負担の軽減策を国に要望します。

1. 医療機関や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置増につなげるよう医療報酬と介護報酬を抜本的に引き上げること。
2. すべての医療機関・介護施設に行き渡る物価高騰支援策を拡充すること。
3. 社会保障に関わる国民負担は、必要最小限とすること。

議員全員での審査を行い、意見書を関係省庁に提出しました。

採択

議員研修

独自に議員研修会を開催!

山形県町村議会議長会参与・武田裕樹氏をお招きし、新人議員に向けた議会・議員の基礎知識についての研修として議会・議員の役割、会議規則などの基礎項目から議員の責務・職責を果たすための心得、日々の調査活動、また議会での発言に関わる基礎知識などを勉強させてもらいました。改めて気を引き締め、背筋を正して職務に就きたいと強く感じた研修会になりました。

子ども議会
「ゆめ議会」から
「ふるさと学習発表会」へ

総合的な学習の時間で学んだ探究活動(昨年7月に開催したゆめ議会もその一環)の成果を発表し、わかりやすく伝えることを目的とした発表会に参加しました。最上中学校3年生17グループのプレゼンがあり、廃校になった学校を使ったイベントや町特産のアスパラを使った緑の春巻き、花やアロマキャンドルを使った提案等、町の活性化に繋がるユニークな発想があふれる発表会でした。



山崎 香菜子議員



動画はこちらから

より良いまちづくりを目指した 役場内の働き方改革を

フレックスタイム制について 検証する意義はある

町長 答 弁

答

令和四年度の機構改革にて出来るだけ縦割り型の業務推進を乗り越えるため、室制に変更し、業務に対する職員の共通認識の醸成と対応能力の向上を目指している一方、数年来の取り組みとして、各課横断型の「政策推進プロジェクトチーム」があります。

これらの活動を支えるマネジメント能力向上を目指し、定例管理職会議にて常に各課横断的な取り組みが前進するよう配慮しています。

また、庁舎内には安全衛生委員会が設置され、心身の健康保持を目指した定期的な会合が持たれており、フレックスタイム制について検証する意義もあると考えます。

問

「まちづくり組織」としての使命を持つ役場職員の皆さんが、ストレスなくやりがいを持って働ける環境づくりは出来ているのか。部署ごとの業務量の差が残業時間につながってはいないか。また、他部署との連携が取れていないと感じる。業務体系を見直し、個々の能力を活かす組織マネジメントを行うこと、効率化やワークライフバランスの向上を目指したフレックスタイム制の試験導入を検討できないか。



問

答

町長 答 弁

希望の条件に合う職場がないなど、町内における働く場の課題が浮上している。働く場の充実が移住定住に一定の効果が見込める。町や商工会などが連携し情報発信のサポートや、定期的な勉強会の開催、専門家による相談会など、企業の可能性を伸ばす取り組みを行なっていく必要があるのでは。

雇用管理改善に向けたセミナーの開催や定期的な勉強会の開催は有効的な手段であり、従業員の意欲向上、生産性の向上、結果的に働きがいのある職場となり、人材確保にもつながるものと思われま。改めて、企業訪問を実施し、現状把握をしながら、企業の可能性を伸ばすべく支援策を検討して参ります。

町内の「働く場」の 充実が移住定住のカギ

企業の可能性を 伸ばすべく支援策を検討



町長 答 弁

答

みんなの家は、町が直接事業目的を果たす行政財産としておらず、アルカディアもがみの積極的な自主事業を展開する拠点となっています。

「支え合いの地域づくり」の活動支援やボランティア活動の相談窓口となる機能は社会福祉協議会がその役割を担い、社会福祉士の資格を持った職員が生活支援コーディネーターとして活動を行っています。

「道の駅もがみ」 これからの展望は?

町長 答 弁

答

今後の運営はいかに町内に観光客を「呼び込む」かが大きな命題と言えます。指定管理者の業務をはじめ町観光協会、産直四季香、ヤナ茶屋もがみが、経営戦略にむけた企画立案を図るために「運営協議会」を立ち上げており、連携したイベントの共同開催や誘客事業を展開してまいります。

そのほか、指定管理者の施設管理について、コミュニティFMラジオについて質問いたしました。

町有施設の 有効活用は?

問

答

町長 答 弁

中央公民館内に設置されている国スポ推進室は大会終了後元の調理室に戻るのか。

大会終了後も残務整理等一定程度の期間を要すること、また現在の庁舎内の状況から、即時別室に移動することは難しい状況です。

問

アルカディアもがみが運営管理している2か所の施設、みんなの家と旧みずかみを効率的に2か所にまとめ、どちらかの施設で「支え合いの地域づくり」を推進しボランティア活動の拠点作りをしてはどうか。



栗林 浩子議員



動画はこちらから

問

答

町長 答 弁

観光協会事務局が道の駅もがみへ移転したが、産業振興センターの機能はどうなるのか。

観光案内機能については、商工観光室が引継ぎ、情報提供を行って参ります。振興センターとしての機能につきましては、各関係組織と連携しながら、地域産業の振興に向けて鋭意努力してまいります。

観光案内機能については 商工観光室が引継ぐ

連携したイベントの 共同開催や 誘客事業を展開



すがい
やすゆき

須貝 康幸議員



動画はこちらから

の在り方等の課題があり、整備が進んでいない状況も踏まえ、設置に向けて丁寧に対応していきたいと考えております。

W i f i の設置は、令和2年度に、中央公民館、小・中学校の体育館及び旧小学校体育館の計9カ所と地区公民館2カ所に設置しております。

集落の公民館につきましては、必要性を調査するとともに、ご意見等もいただき検討してまいります。

公民館・集会所の設備は このままでいいのか？

町長 答 弁

エアコンの設置とトイレの洋式化につきましては、各種補助・交付金、助成事業などの有効活用により、公民館40分館のうち、エアコン設置が17分館、トイレの洋式化が25分館、整備された状況になります。残りの23分館でもエアコン設置が検討されているものと推測されるところです。

トイレの洋式化につきましては、設置のための建物自体の構造上の問題や、日常の経費、冬期間の管理

この度、各公民館・集会所の現状を把握したいと思い、実際に視察してきました。

そこで、気になった点が、次の3点であります。

- 1 エアコンの設置
- 2 トイレの洋式化
- 3 Wi-Fiの設置

町長のお考えをお伺いいたします。



「道の駅」から「ふるさと納税」発信へ

町長 答 弁

本年十月に国の改正によりふるさと納税を募集する際に「寄付金受領証明書」の発行経費なども含まれることから経費は寄附金の総額の五割以内に變更されました。

「店舗型ふるさと納税」については導入や運営なども募集経費に含まれることから十分検討していく必要があると考えております。

しかしながら「道の駅」をふるさと納税に活用する必要性は感じていて、新たなチャンス

問

道の駅「もがみ」が11月26日にオープンしました。「道の駅」の交流スペースに「ふるさと納税返礼品特産物」コーナーを設置し最上町を身近に感じてもらいその場で納税の申込みができる「店舗型ふるさと納税」について考えは？



として交流スペース等の有効活用も含めて「道の駅」から情報発信を行う新たな形でふるさと納税を模索しながら取り組んでまいりたいと考えております。

「道の駅」を有効活用し 新たな情報発信を

带状疱疹のワクチン接種の助成は

町長答弁

帯状疱疹はウィルスで起きる皮膚の病気で、80歳までに3人に1人が発症すると言われているので、接種を2回受けることで免疫力を高め発症時に重症化を抑えることが期待できるとありました。

また接種の自己負担額は2回接種する必要がある計約4万円となり、高額なワクチンになっています。

ワクチン接種の助成についての所見と、県内で助成を行っている自治体の状況は？

当町では予防接種法の規定で感染力や重篤性が大きい「A類疾病」と重症化予防に比重を置いた「B類疾病」に分類されている観点から予防接種について助成を行っています。

国のワクチン分科会の推移を見て

ふるさと納税の推進と展望を伺う

町長 答 弁

寄附額の増に向けた取り組みにつきましては、最上町の魅力を活かした体験型の返礼品として、最上小国川の遊漁券・赤倉スキー場リフト券・前森高原の乗馬体験チケットなどを導入してきたところです。

今後、アスパラガスの収穫体験やカム口窯の焼き物体験など当町の魅力を繋ぎながら、体験型を充実させていきたいと考えております。

現在の返礼品の多くがモノであるのに対し、体験型の返礼品を多くすることで、観光や関係交流人口が拡大し、多くの人に最上町を知ってもらい、ふるさと納税に繋がるサイクルが生まれてくると考えますが？



佐藤 正市議員



動画はこちらから

都市公園の 公衆トイレ修繕・改修は?

問 都市公園の公衆トイレ修繕・改修計画の考えは?

答 町長 本都市公園は、最上町都市公園条例に基づいて、都市公園法及び都市公園法施行令に定める町民の休息・鑑賞・散歩・遊戯・運動等総合的な利用が可能な公園である事、又設置及び基準、管理について定めた条例になります。直近の西公園施設の利用状況は、コロナ過で利用が減少したものの、五類移行後は、西公園開催のイベントが沢山行われており、その為に、利用者も増えています。施設内の老朽化した、体育館は解体し、隣接する老朽化トイレも撤去しています。町が保有するスポーツ施設の老朽化対応として社会体育施設長寿命化計画を策定しており、計画に則り、野球場と多目的広場二か所のトイレ改修を検討してまいります。

野球場と多目的広場二か所の トイレ改修を検討していきます



問 最上町都市公園条例に公衆トイレ管理規定の追加してはどうか?

答 町長 町本条例において、都市公園の設置基準及び管理について必要な事項を定めておりますが、西公園施設に関しましては、指定管理者による施設管理を行っており、その中には公衆トイレの管理も含まれております。その上で、指定管理者は施設設備を管理に関する必要な事項を決めながら、適切な維持管理を行う体制となっております。

計画的な施設改修と 管理規定のあり方 について検討

国土交通省で示す都市公園法運用指針においては、都市公園の管理基準について施設の老朽化が進行する中、予防保全型の効率的な維持管理を徹底することにより、財政負担を軽減しつつ、老朽化に起因する事故の予防に努める事と定められており町民の健康体力増進とスポーツに親しめる環境を整えて行く為には、トイレ施設の整備も必要不可欠であると捉えております。今後、計画的に施設改修と管理規定のあり方について検討してまいります。

消防団を持続していく為にも 全団員から意見を聞いてほしい

問 昨年の9月定例会で、消防団を持続していく為にも団員の負担を軽減し、活動しやすい環境づくりの点で操法大会を廃止し、代わりに実践的な訓練の実施、5月のGW期間中に行われる春季消防大演習を始めとした各種行事の日程や内容の見直しなどについて質問・提案したが、その後、どのように取り組まれているのか?

答 町長 これまでの消防団行事における負担軽減の取り組みとしては、春季消防大演習の訓練の見直しや表彰時間の短縮、出初式は上級幹部のみの参加、ポンプ操作の講習会を休日から平日の夜に開催する等に取り組んでいます。来年度以降の操法大会につきましては、今まで通り実施するのか、それとも操法大会に代わる知識や技術の習得に向けた訓練等を実施すべきか、現在、消防団幹部等と協議中であります。

幹部の方々と話し合いを持ちながら 前向きに検討していきます



問 幹部の方だけでなく、全団員にアンケート調査を実施して、操法大会のみならず、様々な意見や要望を聞いて、それを基に来年度の行事や訓練計画の策定につなげていくべきでは?

答 町長 以前、幹部等にアンケート調査を実施しましたが団員全員ではありませんでした。現状400名程しかいない中で消防団を維持、運営していく為には、一人一人の意見を聞いていく必要があるのではないかと考えておりますので、幹部の方々と話し合いの場を持ちながら前向きに検討していきます。

陸羽東線のこれからを どう考えているのか?

地域交通の重要な基盤として 路線の維持に努めていきます

問 陸羽東線の利活用促進に向けたアクションプランは?

答 町長 広報紙を通じて、厳しい現状を町民と共有させて頂き、時期を見据えた中で、利用促進や存続に向けたポスターや看板等による広報活動や、二人でも多くの方から利用して頂けるような取り組みを強化し、地域交通の重要な基盤として路線の維持に努めてまいります。



今回は / 予約制乗り合いバス レインボー号



今回は、全町展開から約2年半を迎える中で実際の
利用者の声をバスと一緒に乗って聞いて来ました！

予約制乗り合いバス（デマンド型）通行は、公共交通利用者の主体である高齢者の
外出支援に貢献できるシステムとして、前森黒沢・月楯萱場エリアが社会実験と
して平成27年度から始まり、令和2年度に東エリアが加わり、令和3年8月には西
エリアにも拡大し、全町展開となりました。

現在の利用登録者数は688人、利用人数は5887人となっています。

（令和5年4月～12月末現在）



西エリア（東法田・瀬見方面）

担当：菅・佐藤

今回は鶴杉から東法田経由で1
人が健康センターで降り、5人が病
院までの利用でしたが、自宅玄関で
乗り降り出来て、大変感謝している
との事でした。また、普段は見られ
ない地区の様子や景色を眺められ
るので楽しいという声がありました。

前森黒沢エリア

担当：栗林・須貝

乗り降りについては問題ないが、手
押し車を乗せる事ができれば良いが、
折り畳み式のものがなくて、乗せら
れない。また、病院の終了時間が変わ
るときに、連絡して遅い時間にしてもら
っているが、30分前までに連絡しな
いとならないのが少し不便。マックス
バリュで帰りのバスを待つのが外のベン
チなので、寒い時は困る。といった声
もありました。

東エリア（堺田・赤倉方面）

担当：宮本・山崎

ご高齢の方は、たとえ100mでも
歩行が困難な場合があり、もう少し
目的地（降車場所）が増えるとあり
がたいとの声や、自宅から向町に行
く午後の便があると午後に開催し
ている行事やイベントに参加しやす
くなる。回数券を車内や役場だけ
でなく予約センターでも買えると
良い。という声がありました。

編集委員の感想まとめ

1人暮らしの高齢者にとってデマンドバスは利便性の他に、他地域の方々と
のコミュニティの場にもなっている事を知ることが出来ました。大変感謝して
いる声の反面、改善や要望を求める声もありました。
今後も利用者の声を大事にしながら地域公共交通サービスとして、さらなる
利便性に努めてほしいと思います。



2040年問題に向けた医療・介護の姿は

町長 答 弁

問

6年に一度となる、診療報酬と介護
報酬の同時改定では、高齢化と人口
減少が進む「2040年問題」への対
応が急務となります。質の高い医療・
介護を、効率的に提供できる体制づ
くりが、不可欠となりますが、どう進
められていくのか。

近い将来を見通した中で、第十次高
齢者保健福祉計画や第九期介護保険
事業計画、また、病院経営強化プラン
などの策定を行っており、その計画の
屋台骨となっている考え方が「地域包
括ケアシステム」の構築です。
当町では、保健・医療・福祉の総合施
設である「ウエルネスプラザ」内に「地
域包括支援センター」を設置し、可能
な限り住み慣れた地域で、自分らしい
暮らしを続けることができるよう、医
療・介護関係機関、社会福祉協議会、N
PO団体など様々な機関・団体が連携し

佐澤
浩議員



動画はこちらから



地域包括ケアシステムの構築に
向け取り組んでおります。今後
も、こうした体制は不可欠であ
り、変化する人口動態や社会情
勢に対応していかなければと考
えております。
また、最上病院では、住民の
安全・安心や幸せな生活に寄
り添えるよう、救急機能や夜間診
療体制を維持しつつ、急性期か
ら回復期・慢性期の患者様、あ
るいは介護をサポートする「レ
スパイト入院」にも対応し、そ
して将来的には療養も含め、幅
広い患者層を迎え入れることで、
地域の各病院、介護施設と連携
して運営する体制を目指し、在
宅医療の需要増にも応えてい
かなければと考えます。
そうした中で、地域の医療福
祉・介護施設等で働く職員の技
術と資質を高めつつ、職員同士
や患者様、ご家族、利用者様と
の心を通わせた「地域包括ケア
体制」を丁寧に実践していくこ
とで、各施設の収益力の向上に
結び付け、必要な医療・介護の体
制を維持し、町民の皆様の負託
にこたえていきたいと考えてお
ります。

地域包括ケア体制を丁寧に実践